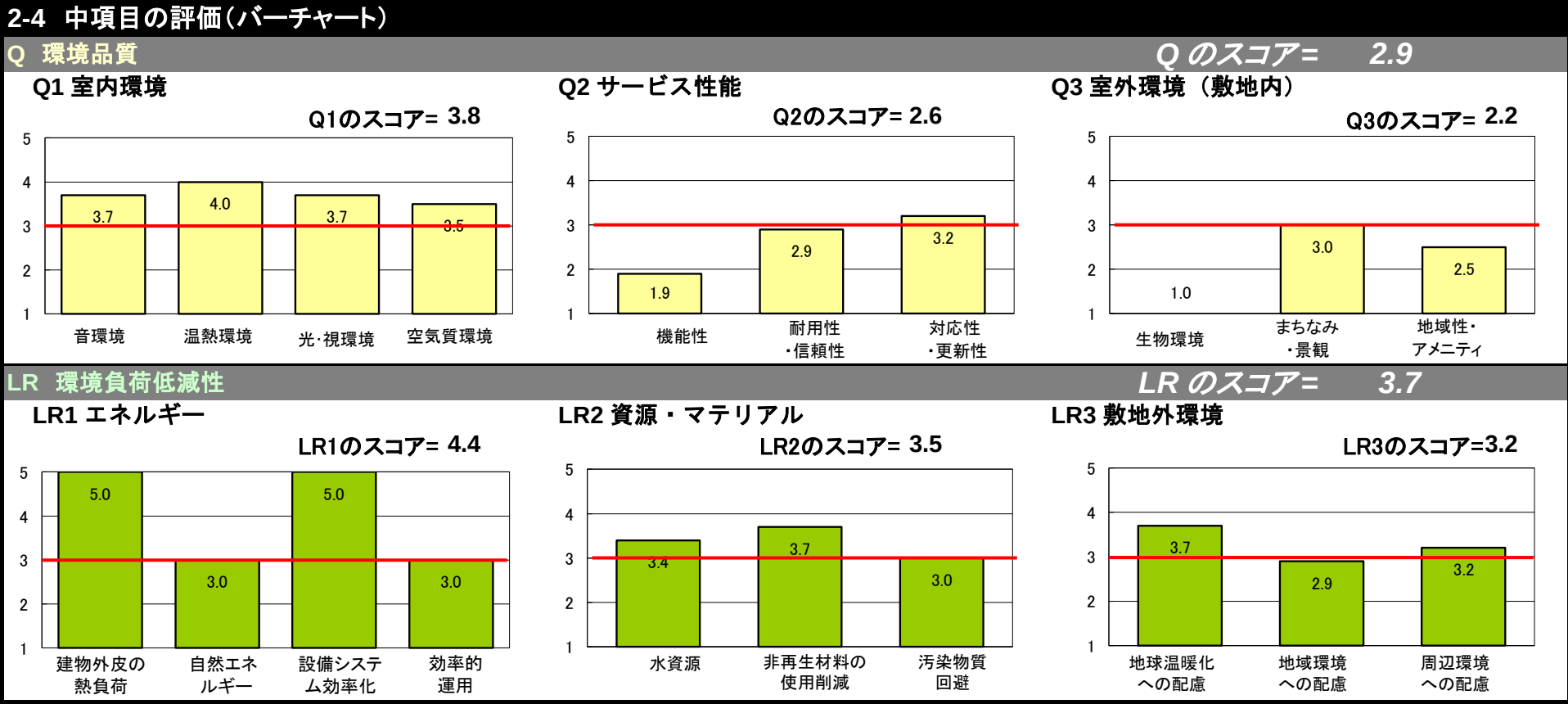
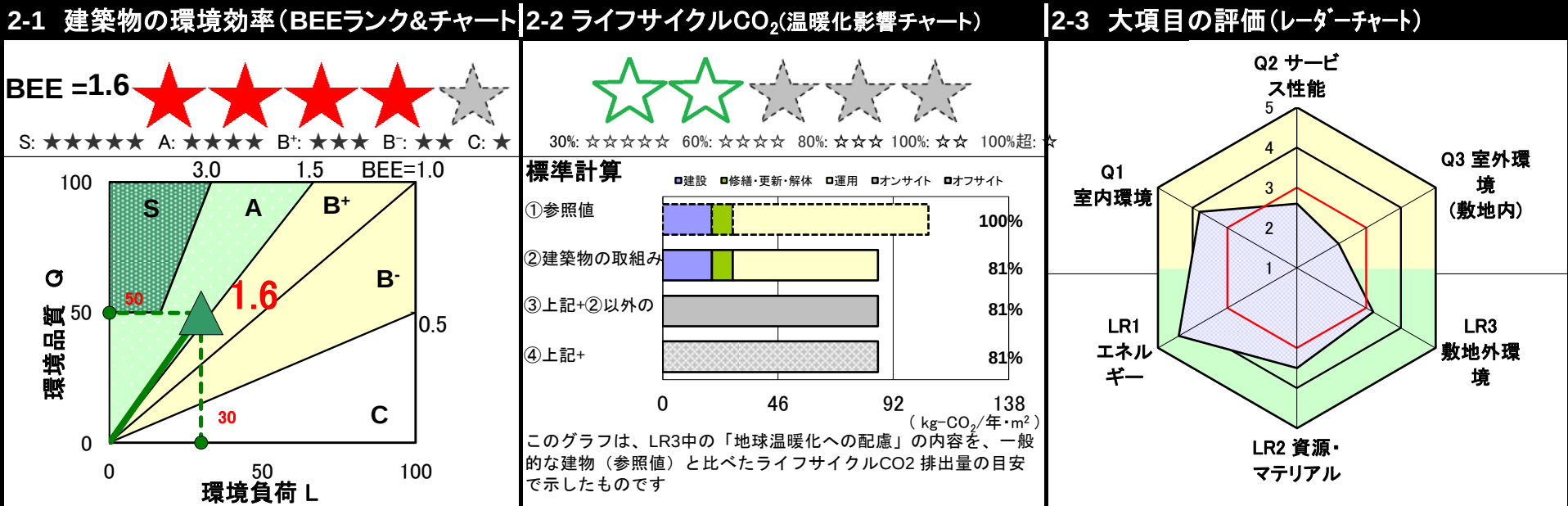


CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エイルマンション東町Ⅱ新築	階数	地上10F
建設地	熊本県熊本市東区東町4丁目4番49	構造	RC造
用途地域	準工業地域,指定なし	平均居住人員	90 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年1月27日
敷地面積	1,818 m ²	作成者	園田亜依
建築面積	668 m ²	確認日	2017年1月30日
延床面積	4,752 m ²	確認者	伊東正太郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)エイルマンション東町Ⅱ新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)		
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境				0.40	-		3.8
1 音環境			4.0	0.15	3.7	1.00	3.7
1.1 騒音		(共用部)ホール: 50dB(A)、(住居部)住戸: 40dB(A)	3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音			5.0	0.50	3.4	0.50	
1 開口部遮音性能		(共用部)(住居部)T-2	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能			-	-	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		(住居部)LL-45	-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		(住居部)LH-50	-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音			-	-	-	-	
2 温熱環境			1.0	0.35	5.0	1.00	4.0
2.1 室温制御		(共用部)ホール【EAW-1】外皮U: 3.33、窓SC: 0.92 U: 5.78、(住居部)	1.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温			1.0	0.63	-	-	
2 外皮性能			1.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境			3.0	0.25	4.0	1.00	3.7
3.1 昼光利用		(共用部)エントランスホール: 2.5%、(住居部)Eタイプ・LDK: 3.4%	4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率			5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口			-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策			2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御			2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境			3.2	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策		(共用部)(住居部)F☆☆☆☆の積極的な採用、又は規制対象外を使	4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策			-	-	-	-	
4.2 換気			2.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御			-	-	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.6
1 機能性			1.7	0.40	2.0	1.00	1.9
1.1 機能性・使いやすさ			1.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応			-	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画			1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務			-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	耐震クラスA	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-		
	3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.3		1.00
3.1 空間のゆとり	(住居部)階高(2～9階):2.92m			-	-	3.6	0.50		
				1 階高のゆとり	-	-	4.0		0.60
2 空間の形状・自由さ				-	-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-		
	1	空調配管の更新性	構造部材・仕上材を傷めることなく、更新・修繕できる 仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2	
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制				省エネ等級4	5.0	0.20	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	0.10	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.82	5.0	0.50	-	5.0	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	-	-	-		
	集合住宅の評価(3c)			5.0	1.00	-	-		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-		
				4.1 モニタリング	-	-	-		-
				4.2 運用管理体制	-	-	-		-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-		
				4.1 モニタリング	3.0	0.50	-		-
				4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-		-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水			節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-			
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減				3.7	0.60	-	-	3.7	
	2.1 材料使用量の削減			パーティクルボード、再生クラッシュラン、再生アスファルト	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-		-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0		0.50	-	-		
	3	冷媒	3.0		0.50	-	-		
	LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	
1 地球温暖化への配慮				リサイクル材の使用	3.7	0.33	-	3.7	
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9	
	2.1 大気汚染防止			自転車置場、駐車場の確保、駐車場の導入路への配慮	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	-		-	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制	3.0		0.33	-	-		
	3	交通負荷抑制	4.0		0.33	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制	1.0		0.33	-	-		
	3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			光害ガイドラインチェックリストの過半を満たす、広告物照明なし	3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0		1.00	-	-		
	2	振動	-		-	-	-		
	3	悪臭	-		-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0		0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制	1.0		-	-	-		
	3	日照阻害の抑制	3.0		0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	5.0		0.70	-	-		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-				

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

(仮称)エイルマンション東町Ⅱ新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	83
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				99.5	0.40	39.80
Q1-2.1.2	外皮性能	4.1	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.5	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				52.5	0.20	10.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				83.4	0.20	16.68
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.9	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

景観に配慮した外観デザインとした。

Q1 室内環境

居室のサッシは断熱性の向上を図り、複層ガラスとした。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、全室ビニル床を採用。

Q3 室外環境（敷地内）

建物周辺部には地被植物を設け、暑熱環境に配慮。

LR1 エネルギー

窓部には省エネルギー性の高い複層ガラスとし、熱損失、熱取得の低減に努めた。

LR2 資源・マテリアル

限りある資源を有効に利用する、節水型機器を採用した。
躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。

LR3 敷地外環境

駐車場と駐輪場を敷地内に設け、周辺の交通負荷の抑制に努めた。

その他